月間報告書　2024年4月分

学籍番号　　留学先　コスタリカ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

| No | 履修科目(原語名) | 履修科目(日本語名) | 受講時間数(分) | 授業形態 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | PRÁCTICA CORAL I | 実践コーラス | 1320 | 授業 |
| 2 | TALLER DE TEATRO | 演劇ワークショップ | 1190 | 授業 |
| 3 | INGLÉS INTENSIVO ORAL I | 英語 | 1970 | 授業 |
| 4 | EXPRESIÓN ORAL I | 口頭表現 | 1320 | 授業 |
| 5 | GRAMÁTICA INGLESA I | 英語文法 | 1020 | 授業 |

Ⅱ．授業内容

No.1

3月

週2回、110分ずつの授業です。４５人ほどの学生が受講しています。芸術学部の学生がほとんどで留学生は私を含め2人です。１回目の授業はオリエンテーションでシラバスやスケジュールの確認をしました。2回目の授業では5月のコンサートに向けて、パート分けが行われました。3回目以降から本格的な練習が始まりました。ベートーヴェンの第9を歌っています。毎回、男声パートと女声パートに分かれての練習や、全体で合わせを行っています。発音や、音程、歌い方のテクニックをアドバイスしてもらいながら練習します。そして授業外で復習や、音源を聞いて練習を行っています。授業の雰囲気は学生同士で仲が良くお互い助け合いながら練習しています。

4月

3月に引き続きベートーヴェン第9を歌っています。5月のコンサートに向けて毎回パートごとの練習や全体で合わせの練習をしています。歌い方だけでなく発声の仕組みや方法などの基礎も同時に学んでいます。授業内だけでのコンサートではないので、普段の授業の時間ではなく、夜にコーラスグループとリハーサルをすることがあります。パートごとの仲間同士で教えあう環境があり、とても雰囲気がいいです。

No.2

3月

週1回170分の授業です。25人ほどの学生が受講しています。受講生の専攻は様々です。この授業も留学生は私を含め2人です。朝7時から授業が始まるので毎回の授業では必ず初めに音楽に合わせた準備運動をします。その後、ボールを使って意識トレーニングや、反射神経を鍛えるトレーニングなど、演劇をするために必要な力をアクティビティを通して鍛えています。１回目の授業では、トレーニングに加え、自己紹介や受講理由などを共有しあいました。授業の雰囲気はとても明かるく、朝早いですが活気あふれた授業です。誰も取り残されないようにとても分かりやすく説明してくださいます。

4月

ペアでの活動として、台本が配られ、ペアで練習をしました。その後、クラス全員の前で披露しました。披露するたびに先生から動きや言い方などのアドバイスを受けています。月の後半からは、6人ほどのグループを作り、１から劇を作り上げています。どのような内容でどのようなオチにするのか、また、台本も自分たちで考えています。そして、何度もリハーサルをし、本番に向けてより良い作品を仕上げようと頑張っています。

No.3

3月

週2回、170分ずつの授業です。25人ほどの学生が受講しています。授業のレベルはA1からA2レベルだと感じます。英語初級者が多いです。毎回の授業では、宿題が出され、その宿題に答え合わせをしながら作文や、ペアでの会話練習、発音のチェックを行います。宿題は穴埋めや、リスニング、作文です。1回の授業ごとに2回ほど先生にあてられます。

4月

教科書に沿い授業が進んでいきます。ペアでの活動が多いです。音読をしたり、文章を考えて発表をしたりしています。また、小テストやオーラルテストも行われることが多いです。宿題は2回に1回の頻度で出され、作文、文法、リスニングの課題があります。わからないことをすぐ質問できる雰囲気で、授業も活気があります。授業中、必ず1回はあてられます。

No.4

3月

週2回110分ずつの授業です。20人ほどの学生が受講しています。留学生は私1人だけです。自分の発声や表現ををよりよくするため1回目の授業ではアイスブレイクの後、授業の説明を聞きました。2回目以降は、各回ごとに呼吸法や、発声法などのテーマが与えられ、テーマに沿ったトレーニングをしています。ただトレーニングをするだけでなく、理論を理解したり、トレーニングをすることでどのように変わったかなど振り返りをし共有する時間も設けられています。授業の雰囲気はとても活気があり、受講していてとても楽しいです。

4月

今月はレポートの提出がありました。本を読んで学んだこと、そして授業での活動で学んだことなどをまとめて提出しました。授業中では、自分の行動と声の関係や、呼吸と声の関係について実際の活動を含めて学んでいます。先生に評価してもらう場面もあり、より学びを深めています。授業はとても明るく、学生同士とても仲がいいです。お互いに教えあう場面もあります。

No.5

3月

週1回170分ずつの授業です。25人ほどの学生が受講しています。内容は言語学です。具体的には今、品詞の分類を学んでいます。毎回の授業では教科書に沿い、先生の説明を聞き、練習問題に挑戦しています。毎回ではないですが宿題もあります。練習問題を解く、教科書を読むなどです。小テストも定期的に行われます。授業で分からないことがあればその都度質問し、疑問を解決していきます。グループワークもあり、ほかの学生との関わる機会も豊富です。

4月

今月は小テストがありました。教科書の範囲が与えられ、テストが行われます。授業では、教科書に沿って学ぶだけでなく、先生が考えたアクティビティを通して学ぶことも多いです。例えば教室外に問題が書かれた紙があちこちに貼られ、その紙を見つけるとともに問題を解くというアクティビティなどです。楽しんで学ぶことができています。

月間報告書　2024年4月分

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学籍番号 | | 留学先 | コスタリカ大学 |
| 氏名 | | 留学期間 | 2024/04/01～2025/03/31 |
| 年次 | 4年次 | 留学区分 | 派遣留学 |

Ⅲ. 生活編

3月

まず出発前の準備について書きます。私はコスタリカの仮ビザを申請してから渡航しました。まずは大使館に連絡をし、必要な書類を教えてもらい、書類を準備した後、大使館に予約をし、大使館を訪問しました。書類はスペイン語に翻訳し、公証人の証明を貰いさらにアポスティーユ証明を貰うなど、手続きがとても複雑です。私の場合は、戸籍抄本は前述の申請を行い、犯罪経歴証明書はアポスティーユのみの申請でした。大使館の方々はとても返信が早く、わからないことを質問するとすぐ返信してくださりました。大使館訪問の予約もスムーズでした。電話もすぐにつながります。大使館は東京にあるので渡航前に１度東京に行く必要があります。仮ビザは即日発行されました。大使館では、大使と雑談のように、どこで勉強するのか、専攻は何なのかなど話しました。渡航についてですが、私はオリエンテーションの3日前に現地に到着しました。アメリカのヒューストンで乗り継ぎをしました。少しでも安心できるようアメリカまでは日本の航空会社で行きました。空港からの利用はタクシーを使用しました。しかし、Uberを手配するとより安く移動できることを後から知りました。Uberの方が安くて安全です。

履修登録は、渡航前に行われました。まず、願書に自分の履修したい科目を書き、その後、大学の学部ごとに履修登録ミーティングの案内が送られてくるので再度履修したい科目をExcelで送り、ミーティングに参加します。ミーティングでは、自分の能力とその授業のレベルが適切か１人１人話し合われます。このミーティングを通して学部の先生の承認を貰うことで、履修が可能になります。私の場合、3つの学部の授業を履修しました。様々な学部の授業を取ると、時間管理がとても難しいです。私も授業が被ってしまい、授業開始直前に急遽変更してもらいました。

オリエンテーションでは、午前に学校の説明が行われ、午後はレクリエーションがありました。ほかの留学生とだけでなく、現地の学生と交流できる機会です。また、留学生が安心して生活が送れるようなプログラムがありました。それは留学生と現地学生のバディプログラムのようなもので、キャンパスツアーや学校生活や普段の生活での質問などを気軽に聞ける、というものです。

4月

今月はsemana universitaria というイベントがありました。これは学校祭のようなもので、一週間行われます。学校内ではコンサートや、イベントなど様々な行事が行われていました。私も夜のライブを見に行きました。日本のライブとは違い、全員で踊ったり、叫んだりしていました。日本とは違う光景に最初はとても驚きましたが友達にコスタリカの文化を教えてもらいながら楽しみました。

ここからは病院に診察に行った経験について書きます。私は旅先でダニにたくさんかまれてしまい、病院に診察に行きました。大学から交換留学をする際に必ず入らなければならない保険を使いました。まずは、保険会社に連絡をしました。その後、保険会社と提携している現地の病院を手配してもらい診察に向かいました。保険会社の提携病院のため病院ではお金を一切払うことなく、待ち時間もなかったです。薬局で薬の代金を払った程度です。診察では、個室の診察室で、症状や期間などを聞かれたのち、症状が出た原因や処方される薬の説明などを受けました。先生はとても優しく説明してくださいました。今回の経験を通して少し不満に思ったことが1つあります。それは、保険会社に連絡してから診察の完了まで5日ほどかかったことです。時期や国にもよると思います。私の場合は木曜日に連絡をし、土日を挟んで週明けの予約完了、診察でした。私は今回、緊急性は高くはなかったですが、もし熱や頭痛、腹痛などの緊急性がもっと高い症状だったらとても大変なのではと感じました。その場合は、保険会社の提携病院にはこだわらず、自分で病院を見つけ、後から請求するかたちを取る方がよいと思います。

月間報告書　2024年5月分

学籍番号　　留学先　コスタリカ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

| No | 履修科目(原語名) | 履修科目(日本語名) | 受講時間数(分) | 授業形態 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | PRÁCTICA CORAL I | 実践コーラス | 990 | 授業 |
| 2 | TALLER DE TEATRO | 演劇ワークショップ | 680 | 授業 |
| 3 | INGLÉS INTENSIVO ORAL I | 英語 | 1530 | 授業 |
| 4 | EXPRESIÓN ORAL I | 口頭表現 | 990 | 授業 |
| 5 | GRAMÁTICA INGLESA I | 英語文法 | 680 | 授業 |

Ⅱ．授業内容

No.1

中旬に2回、教会でベートーヴェンのコンサートがありました。それぞれ会場は違ったのですがどちらも歴史のある大きな教会で、とてもたくさんの人が来場してくださいました。コンサートまでの期間は、オーケストラとのリハーサルのため、夜に練習があることが多かったです。コンサート後は、6月末に行われるコンサートに向けて新しい曲の練習をしています。今回は2曲を並行して練習しています。

No.2

学期末の発表に向けてグループで練習しています。授業の中で先生に見てもらう時間があり、そこで細かい動きや発声、表情などを学んでいます。机に向かって学ぶ授業ではないのでコミュニケーションをたくさん取っています。

No.3

中間テストがありました。2回の授業に分けて行われました。1回目はオーラルテストで、ペアでの会話を担当の先生と外部の先生に評価してもらう、というものでした。2回目は筆記テストで、リスニング、ライティング、リーディングと単語の問題がありました。テスト結果は次の授業で返ってきました。

No.4

ペアでの動作と声の発表がありました。ペアで動作(ボールを投げる、蹴る、踊るなど)を様々な速さ、動作の大きさで表現するというものです。また声の授業であるので、動作とともに短い文や単語をいろいろな発声方法で発声します。この動作と発声を6つほど考え最終的にクラスで発表します。動作をつなげて物語のように発表しました。クラスの雰囲気はとてもよく、思い切って演技ができます。

No.5

この授業も、中間テストが行われました。教科書を理解していれば解ける問題ばかりでした。また１度、対面授業ではなく、自宅学習になりました。その際はTeamsのようなアプリで説明や練習問題が出されそれを各自で行うというものでした。

Ⅲ．生活編

１度夕方に大雨、雷の影響により停電になりました。その日は夜にコンサートのリハーサルがある日でした。学校は非常灯がちらほらついている程度でほとんどが真っ暗でした。教室は真っ暗で使えず、校舎のロビー非常灯の薄暗い明かりの下、練習しました。途中から電気が戻り、通常通り練習ができました。あまり経験することがないのでいい経験でした。私はとても驚いていたのですが、ほかの学生たちは特にパニックになる様子もなく生活していてびっくりしました。

下旬に学生証を受け取りました。4月に登録、そして写真を撮りに行き、一か月待ったのちの受け取りです。受け取った時は、私もコスタリカ大学の学生なんだと実感したとともにとてもうれしかったです。どの授業も毎日とても楽しく、時間が過ぎていくのがとてもあっという間です。この時間がずっと続けばなあといつも思っています。限られた時間であるからこそ日々を悔いのないよう、過ごしていきたいです。

また、友達が出演するということで中心部の劇場にオペラを観に行きました。なかなか観劇する機会がないのでとても貴重な経験になりました。コスタリカ大学では日々たくさんのイベントが開催されています。私もオペラだけでなく、オーケストラや合唱コンサートにも行きました。留学生向けのワンデイトリップなどもあります。授業だけでなくたくさんの経験ができるとても楽しい大学です。

月間報告書　2024年6月分

学籍番号　　留学先　コスタリカ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

| No | 履修科目(原語名) | 履修科目(日本語名) | 受講時間数(分) | 授業形態 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | PRÁCTICA CORAL I | 実践コーラス | 1320 | 授業 |
| 2 | TALLER DE TEATRO | 演劇ワークショップ | 680 | 授業 |
| 3 | INGLÉS INTENSIVO ORAL I | 英語 | 1360 | 授業 |
| 4 | EXPRESIÓN ORAL I | 口頭表現 | 880 | 授業 |
| 5 | GRAMÁTICA INGLESA I | 英語文法 | 680 | 授業 |

Ⅱ．授業内容

No.1

Las últimas siete palabras de cristoという曲と、Te deumという曲に取り組みました。どちらもコスタリカ関係のある曲です。6月下旬にあるコンサートに向け、オーケストラ、そしてUCR Coral という合唱団と合同で練習をしました。コンサートは3回行われ、うち1回はコスタリカで有名な劇場の１つである Teatro Melico Salazar という大きな劇場で歌いました。合唱を通してコスタリカ人にゆかりのある音楽を学ぶことができました。

No.2

7月第1週に行われるプレゼンテーションに向けて、グループで練習をしています。授業外に集まって練習もしました。また、グループでの練習だけでなく、クラス全体での演劇のトレーニングなども行いました。例えば自由に教室内を歩き回り、先生に言われた人物に即興でなりきるというものや、同じセリフをいろいろな言い方、動作で試してみるというものなどです。

No.3

通常授業では教科書の内容を進め、月末には期末テストがありました。授業では教科書の内容に加えて、リスニングやペアでの会話練習、そして発表、宿題の確認などをしました。文法力を鍛えるために、パソコンを使って練習問題をすることもありました。期末テストでは中間テストと同じで4技能すべての問題が出題されました。

No.4

1人1人がそれぞれのテキストを用意し、そのテキストを様々な動作をしながら演じるという活動をしました。これはテキストを覚えた後、走ったりゆっくり歩いたり寝転んだりしながらセリフを演じます。移動の速度によって声色やテキストを言う速さを変えたりと、様々な工夫が必要です。より発音をよくするためのアクティビティも行いました。

No.5

通常の授業に加え、今月はグループプロジェクトを行いました。授業の内容を応用し、身近な英語の文章、小説や新聞記事などを用いて分析するという課題です。授業では、英文の単語の分析から節ごとの分析について学びました。

Ⅲ．生活編

大学の授業外で2週間に1度日本語のクラスに通っています。そこではスペイン語を使って日本語の解説をしたり、文章の発音、そして日本の文化について少し話したりしています。今まで考えたこともなかった日本語の難しさに毎回直面しています。いろいろな言い回しやわずかなニュアンスの違いを説明することがとても難しいです。

また、来学期に向けての準備も始まりました。コースリストから自分の受けたい授業を選び、その履修したい授業の学部長と面談をしています。今受けている学期の面談を受けたときはまだ日本におり、真夜中や早朝にとても緊張しながら受けたのを思い出しました。それに比べて今回の面談は、学部長の言っていることが十分に理解でき、自分から質問をすることもできました。面談している時は気づかなかったのですが、今思うと自分のスペイン語力が少しずつ上がっているのではと感じました。

今はスペイン語をうまくなりたいという気持ちより、スペイン語で、友達との会話をもっと楽しみたいと思うとともに、もっと授業でたくさんの知識を得たい気持ちでいっぱいです。自分なりに試行錯誤しながら引き続き学んでいきます。

月間報告書　2024年7月分

学籍番号　　留学先　コスタリカ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

| No | 履修科目(原語名) | 履修科目(日本語名) | 受講時間数(分) | 授業形態 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | TALLER DE TEATRO | 演劇ワークショップ | 170 | 授業 |
| 2 | EXPRESIÓN ORAL I | 口頭表現 | 110 | 授業 |
| 3 | GRAMÁTICA INGLESA I | 英語文法 | 170 | 授業 |

Ⅱ．授業内容

No.1

グループで作り上げた作品を披露しました。約30分の劇です。クラスの中だけでなく、友達も招待することができる発表会でした。

No.2

最終の実技テストがありました。これは今までクラスで行った活動を先生方の前で行い、評価してもらうというものです。この場の評価だけでなく、どのくらい成長したかも評価されます。後日面談形式でフィードバックも受け取ることができました。

No.3

期末テストが行われました。

Ⅲ．生活編

コスタリカ大学の学生は、大学構内のスポーツ施設を使うことができます。私はよく、プールに行っています。学生料金で使うことができる上に、大学構内を循環している無料バスでプールまで行くことができます。

また、期末ということもあり、音楽学部では様々なコンサートがありました。私もたくさんのコンサートに行きました。その中で、指揮のクラスのコンサートがあり、残酷な天使のテーゼが歌われていました。日本から遠く離れたコスタリカでも日本の曲が愛されいることにとても嬉しく思いました。

7月中旬以降は夏休みです。友達と日本庭園で行われる日本のイベントに出向いたり、私の誕生日でピニャータをしたりとコスタリカでの生活を満喫しています。ピニャータとは、キャンディーなどを詰めた箱をつるし、その箱が破れるまで棒でたたくというラテンアメリカの遊びです。誕生日や、クリスマスなどのイベントでよく行われます。

月間報告書　2024年8月分

学籍番号　　留学先　コスタリカ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

| No | 履修科目(原語名) | 履修科目(日本語名) | 受講時間数(分) | 授業形態 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | CANTO COMPLEMENTARIO I | 音楽の基礎と歌 | 250 | 授業 |
| 2 | PRÁCTICA CORAL II | 実践コーラス | 660 | 授業 |
| 3 | MÚSICA, SOCIEDAD Y CULTURA | 音楽から見る社会や文化 | 340 | 授業 |
| 4 | EXPRESIÓN ORAL II | 口頭表現 | 550 | 授業 |
| 5 | HISTORIA DE LA MÚSICA EN AMÉRICA LATINA | ラテンアメリカ音楽史 | 340 | 授業 |

Ⅱ．授業内容

No.1

5人の少人数授業です。それぞれが、学期を通して4曲歌を選びその歌を通して、音楽の基本を学んでいきます。4曲のうち1曲はスペイン語の歌でなければなりません。歌う技術だけでなく、口や首などの筋肉の作りを学んだり、音楽理論についても授業で扱います。週に2回1時間ずつの授業です。

No.2

授業全体では30人程度です。初回授業は、前学期取り組んだ曲を合唱フェスティバルで披露しました。場所は大学内のコンサートホールで、ほかのいろいろな合唱団も参加して行われました。次の授業からは9月末の行われるコンサートに向けて、ベートーヴェンのファンタシアやEASY ON ME、ALL OF MEなど複数の楽曲に取り組んでいます。授業内では、歌うために大切な理論を学ぶ座学の時間もありました。

No.3

受講人数は、25人程度です。授業はみんなで円を作り授業が進んでいきます。。自分自身の一番古い音楽の思い出を振り返り、その思い出をマインドマップにまとめ様々な角度からその思い出を分析することに取り組んでいます。ディスカッション形式で行われるので、積極性が求められる授業です。

No.4

前学期に引き続き、受講しているので、授業メンバーはあまり変わりません。20人程度のとても仲がいいクラスです。授業の前半は自分の体と声の関係について学び、自分の選んだテキスト（モノローグ）を用いて暗記をし、動作と組み合わせて演技をするという活動をしています。

No.5

15人程度が受講している授業です。文献や、動画からラテンアメリカ音楽の歴史を紐解いていきます。教科書はありません。文献が配られ、授業外で読み進めるとともに、　授業内で解説や補足が行われます。そして楽器を通して、3～4回テストがあります。1回目の授業では作曲家の方が来てくださり講演を聞きました。

Ⅲ．生活編

私は、アパートの1部屋を借りて暮らしています。アパート内には、ほかの国から来た留学生も多く暮らしており、同じアパートの友達と旅行に行ったり、お出かけをしたりしていました。しかし、学期が終わり、友達のほとんどが帰国してしまい、とてもアパートが静かで寂しくなりました。

8月上旬は夏休みということもあり、現地の友達とハコというビーチに行ったり、サラピキという地域の蝶々の保護施設に行ったりと、コスタリカでしかできない休暇を過ごせたと思います。

また、残り1学期間だけの所属になりますが、合唱チームのオーディションを受け、無事に合格をいただき、チームに所属することになりました。週に2日、19時から2時間の練習です。学生だけでなく、社会人の方との出会いもあり、そして練習では音楽のテクニックなどを学ぶことができ、とてもいい経験です。

また8月28日水曜日に、公立大学が政府に対して、より多くの予算を求めてサンホセ市内でMarchaという行進が行われました。授業もほとんどが休講になりました。朝、コスタリカ大学を出発し、サンホセの中心街まで歩きます。私は参加しなかったのですが、教育現場をよりよくしていこうとする学生や教授の意志にとても感銘を受けました。

月間報告書　2024年9月分

学籍番号　　留学先　コスタリカ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

| No | 履修科目(原語名) | 履修科目(日本語名) | 受講時間数(分) | 授業形態 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | CANTO COMPLEMENTARIO I | 音楽の基礎と歌 | 400 | 授業 |
| 2 | PRÁCTICA CORAL II | 実践コーラス | 880 | 授業 |
| 3 | MÚSICA, SOCIEDAD Y CULTURA | 音楽から見る社会や文化 | 680 | 授業 |
| 4 | EXPRESIÓN ORAL II | 口頭表現 | 880 | 授業 |
| 5 | HISTORIA DE LA MÚSICA EN AMÉRICA LATINA | ラテンアメリカ音楽史 | 680 | 授業 |

Ⅱ．授業内容

No.1

個人で決めた歌2曲を練習するだけでなく、発声方法、そして、音感のテストがありました。歌については毎回、先生のアドバイスを貰うことができ、そのアドバイスを基に練習します。

No.2

月末に、一週間を通しての音楽フェスティバルがあり、そのうちの一日、教会で歌いました。Ultima siete parablas de cristo のcuarta parabala、All of me、Someone you loved、Easy on me、Believerの五曲を披露しました。

No.3

独立記念日にちなみ、コスタリカの音楽の歴史、映画や音楽などを通してのほかの国から見たコスタリカの描かれ方などを分析しました。グループワークもあり、自分の中で大切な言葉をグループで共有し、リズムや歌を通してクラスの前で発表するというものでした。

No.4

2分ほどのテキストが配布され、暗記をするとともにクラスの前で演技をします。テキストは、物語になっておりコスタリカ出身の作家により書かれたものです。この物語はどのような背景で進んでいくのか、セリフの声色を変えるなど様々なことを意識しながら、準備、発表をします。

No.5

テストや授業で取り扱っている本の著者の講演など盛りだくさんな一か月でした。テストでは、あらかじめほんの範囲が決められておりその内容についての記述試験です。一時間半ほどの時間が与えられ、教室でパソコンを使ってテストを受けます。

Ⅲ．生活編

9月15日は独立記念日でした。9月の初めから町中がコスタリカの国旗や、コスタリカの伝統的なものの装飾で彩られ、独立記念日の週は大学でもイベントが行われました。伝統的なダンスや、歌などを聞くことができます。私もコスタリカの曲を2曲、Patriótica Costarricense とEspíritu Guanacastecoを合唱で歌いました。また、独立記念日前日にトーチリレーがサンホセに到着しました。これはグアテマラからつないできた火を各地域の会場をゴールに高校生たちが運びます。また人々は独立当時、14日の夜、独立の著名を求めて街を歩いたことから、今でもそれぞれが手作りのランタンを持参し、近所を一周するという行事もあります。当日は、地域のキンダーガーデンから高校生まで各学校がパレードを行います。ダンスやバトン、ドラム、手持ちの鉄琴のような楽器（リラといいます）、などで音楽を奏でながらパレードをします。子供たちに伝統を受け継いでもらおうと、この行事への参加は学校行事の一つで必須だそうです。

いきなりですが、大学の周りについて紹介します。大学の周りはバルやカフェがたくさんあり、昼夜問わず賑わっています。また、コピー屋さんが多くあります。これは、印刷したい書類のPDFを店のWhatsAppに送り、コピーしてもらえるというサービスです。また、楽譜のコピーや本全体をコピーしたいときは、真ん中を綴じて本のように仕上げてもらうこともできます。とても便利なお店です。教科書もここで買うことができます。私は楽譜のコピーや、授業で使う書類の印刷のために利用しています。値段もお手頃です。

月間報告書　2024年11月分

学籍番号　　留学先　コスタリカ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

| No | 履修科目(原語名) | 履修科目(日本語名) | 受講時間数(分) | 授業形態 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | CANTO COMPLEMENTARIO I | 音楽の基礎と歌 | 300 | 授業 |
| 2 | PRÁCTICA CORAL II | 実践コーラス | 660 | 授業 |
| 3 | MÚSICA, SOCIEDAD Y CULTURA | 音楽から見る社会や文化 | 510 | 授業 |
| 4 | EXPRESIÓN ORAL II | 口頭表現 | 660 | 授業 |
| 5 | HISTORIA DE LA MÚSICA EN AMÉRICA LATINA | ラテンアメリカ音楽史 | 680 | 授業 |

Ⅱ．授業内容

No.1

ミニコンサートがありました。ここでは、クリスマスの曲のアンサンブルを一曲以上、そして、有志で練習している曲を披露するイベントでした。私はアンサンブルで2曲、個人の曲で、1曲参加しました。

No.2

上旬、中旬と月末のコンサートに向けて練習をしていましたが、大雨の影響で一週間以上授業が休講になったことで、十分な練習の機会がなくなり、コンサートは中止になりました。

No.3

最終プロジェクトのグループワークを進めるとともに、作曲を専攻しているクラスメイトによるミニ講義やストーリーを絵にかいて表し、その絵を音で表現するというワークなどを行いました。

No.4

学期初めに取り組んだ物語にもう1度取り組んでいます。今回はただ単に演じるのではなく、身体の表現を大きくし、表現するというものに取り組みました。また、グループプロジェクトとしてウォーミングアップを考え、授業内にクラス全員で実行するという活動を行いました。声や身体の使い方や呼吸法など文献を探し、実践します。

No.5

ラテンアメリカポピュラー音楽の教授を招き、ラテンアメリカ音楽のリズムについての講義を受けました。また、最終試験の提出とプレゼン発表も行いました。最終試験のテーマは、アメリカニューヨークにあるカーネギーホールで私たちの音をテーマにイベントをすることを想定し、音楽家として音楽の学生としてどのような目的でどのような曲を披露するのかなどの企画をまとめ、授業内で発表するものでした。

Ⅲ．生活編

現地の友達が通っていた高校の学校祭のようなものに行きました。生徒たちが約1年かけて研究、制作してきた作品を見て回りました。日本の学校とは違う校舎や雰囲気を体験でき、とても興味深かったです。

大雨の影響で大学が閉鎖になり授業が一週間以上休校やオンライン授業になりました。私の住んでいる地域では被害はありませんでしたが、大学内では木が倒れたり、ほかの地域では浸水があったりと、国内で被害がありました。

11月末で最終週の授業が多く、とても寂しいです。1年間を通して履修していた授業もあり、先生やクラスメイトとともにまだまだ学びたいと思いながら授業を受けました。コスタリカ大学での授業は、先生と学生、そして学生同士の距離が本当に近く、授業での学びがより深いです。留学生向けの授業がなく、コスタリカの現地学生と一緒に学べる環境はとても大変でしたが、それよりも学ぶ楽しさや、発見、授業を通して生まれた友情など本当にたくさんのものを得ることができました。先生やクラスメイト、友達に感謝でいっぱいです。